

目次

研究紀要 千葉大学教育学部

平成29年

第66巻 第1号

I. 教育科学系

●小学生を対象とした災害時を想定した調理実習の教材開発と授業分析……………	石田 綾子・中山 節子	1
●乳幼児における絵本の自発的選択傾向……………	富田 久枝・浜田 彩	9
●授業におけるICT機器の活用が生徒の興味・関心におよぼす効果……………	樽木 靖夫	19
—中学校での平面図形の学習に焦点をあてて—		
●学校現場におけるクラブ活動および部活動の課題と対応……………	樽木 靖夫・木村 昭雄・高田 麻美	27
●生活科・総合的学習における子どもの学びの特徴を可視化するICT活用……………	鈴木 隆司	35
●高等学校における特別支援教育導入の経過について……………	重 歩美	43
●学校教育における不就学と長期欠席問題（第4報）……………	保坂 亨・重 歩美・土屋 玲子	51
—転換期としての1970年代以降の長期欠席と不就学問題—		
●教育心理学のテキストで扱われている「青年期」「思春期」に関する内容……………	岩田 美保・大芦 治・樽木 靖夫・小山 義徳	59
●幼児は7枚のキャベツを6人でどのように分けるのか？……………	奥谷 佳子・大道 香織・斎藤 晶海・富田 久枝	65
—幼稚園の飼育当番活動における5歳児の意識と分配行動—	松壽 洋子・砂上 史子	
●学校教育・社会福祉分野における昭和期の「養護」の使われ方と意味の多様性・共通性……………	石田 祥代・岡田加奈子・砂上 史子・宮寺 千恵	73
—養護教諭教育、特別支援教育、保育・幼児教育、社会福祉の各領域に関する分析から—		
●高等学校生物の教育内容の精選に関する研究……………	冬木 隆・藤田 剛志	87
—高校生の興味度と重要性の認知度に関する実態調査に基づいて—		
●パフォーマンス・テストと連動した自己評価の可能性……………	物井 尚子・折原 俊一・Marzan Maria Horne Beverley・西垣知佳子・石井 雄隆	97
●特別な配慮を要する子を含めた子どもどうしの関係性の変容過程とその要因……………	広瀬 由紀・岩田 美保	105
—担任保育者への聞き取り記録からの検討—		
●中学校における合唱指導について……………	久住庄一郎・原田 圭	111
●小学校における音楽教育への提言……………	揚原 祥子・久住庄一郎・原田 圭・竹内由紀子	117
●学校現場における「よい体育授業」に関する検討……………	西野 明・七澤 朱音・下永田修二・杉山 英人	125
—受講生の視点を参考に—	小宮山伴与志・佐藤 道雄	
●教員養成系大学（学部）養護教諭養成課程における「災害看護」関連科目開講の現状……………	工藤 宣子	129
●教育学部養護教諭養成課程における臨床実習の特徴と課題……………	岡田加奈子・花澤 寿	133
●保健室模擬事例から考えるフィジカルアセスメント教育……………	岡田加奈子・三村由香里・齊藤理砂子	141
—「小学校2年生女児の腹痛事例」に対する学生の思考プロセスと授業評価—		
●教科指導におけるICT活用の具体化……………	松尾 七重・寺井 正憲・森田 真吾・辻山 洋介 大瀧 竜午・物井 尚子・高橋 浩之・松壽 洋子 砂上 史子	149
—各教科等の特徴を生かして—		
●教科指導におけるICT活用の具体化……………	松尾 七重・樋口 咲子・本多佐保美・小橋 暁子 伊藤 葉子・中山 節子・木下 龍・辻 耕治	161
—実技教科の特徴を生かして—		
●教科指導におけるインクルーシブ教育……………	北島 善夫・寺井 正憲・森田 真吾・戸田 善治 松尾 七重・辻山 洋介・大瀧 竜午・西垣知佳子 物井 尚子・高橋 浩之・砂上 史子	169
—各教科等の特徴を生かした指導の具体化—		
●教科指導におけるインクルーシブ教育……………	細川かおり・樋口 咲子・本多佐保美・小橋 暁子 伊藤 葉子・中山 節子・木下 龍・辻 耕治 鈴木 隆司・松尾 七重	181
—実技教科の特徴を生かした指導の具体化—		
●科目横断によるミュージカル指導と公演の教育的効果……………	岡部 裕美・富田 久枝・七澤 朱音	191
—音楽と身体表現性を引き出す授業の取り組み—		

●スーパーサイエンスハイスクールにおけるルーブリックの活用とその有効性……………	田辺 新一・関根 康介・野村 真一・三浦 和雅 大橋美帆子・櫻田 忍・阿部 宏・矢野 光子 原 由泰・三上 忠仁・板谷 大介・梶山 昌弘 渡邊 洋美・大西 武彦・粉川雄一郎・中村 泰輔 中島 康彦・武 倫夫・町田 洋・豊田 健司 弘海 政信・小林 裕・藤崎 俊浩・太田 和広 村瀬 恵正・吉田 昭彦・小芝 一臣・高木 啓	199
●「体育実技」と「保健体育科教材研究」におけるアクティブ・ラーニングの事例研究……………	下永田修二・七澤 朱音・西野 明・杉山 英人 小宮山伴与志・佐藤 道雄・坂本 拓弥	205
●小・中英語教育の接続におけるデータ駆動型の英文法指導の実践とICT活用の可能性……………	西垣知佳子・大木 純一・小山 義徳・神谷 昇 石井 雄隆・安部 朋世・物井 尚子・ホーン・ベ バリー・中條 清美	211
●小学校英語の評価を大学生がどのようにとらえているか…………… —J-POSTLを用いた評価に焦点を当てて—	染谷 藤重・本田 勝久	221
●小学校教員養成課程教科専門科目「音楽」の内容に関する検討 試論……………	本多佐保美・山本純ノ介・揚原 祥子	231
●戦後中学校音楽教科書における日本伝統音楽の取扱い…………… —歴史的変遷および日韓比較の視点から—	本多佐保美	239
●児童会・生徒会活動の体験的学びに関する研究……………	樽木 靖夫・高田 麻美	247
●小学校第5学年「植物の結実」での知識の活用力を育成する授 業開発……………	渡部 悠介・山下 修一	255
●学校規模・統合経験と教育活動との関係分析…………… —教員のローカル・ノレッジに着目して—	貞広 斎子	261
●考察ベートーヴェン交響曲・和声と内的衝動……………	山本純ノ介	269
●動画教材と意見分析ツールを活用した道徳授業プログラムの開 発……………	藤川 大祐	275
●大学生版スマートフォン依存傾向尺度作成の試み……………	松島 公望・石川亮太郎・林 明明・橋本 和幸 毛利 伊吹・中村 裕子・石垣 琢磨・宮下 一博	283

Ⅱ. 人文・社会科学系

●社会学の独自性をめぐって……………	井上 孝夫	293
●家庭教育で扱う家族関係に関する法律……………	久保 桂子	303
●若年経験者教員の道徳授業改善への取り組みⅠ…………… —「道徳モデル授業プラン」の開発と実践—	松田 憲子・土田 雄一・尾高 正浩・岡田 直美 佐瀬 久代	309
●学生の情報収集、パワーポイント作成、プレゼンテーションスキルの向上を目的としたパワーポイント・ディベートの実践……………	小山 義徳	317
●英語と日本語における主語の位置について…………… —音韻論の観点から—	神谷 昇	321
●米国幼児期特殊教育領域における肢体不自由児の心理的・身体的特性の位置づけ…………… —アクセスの問題から社会性・パーソナリティーの問題に向けて—	真鍋 健・橋本 正巳	327
●千葉県「小学校英語教室事業」の試行に関する一考察…………… —昭和40年代からの事業創設の背景と初期資料を中心に—	本田 勝久・吉村 博与・有常 洋菜	335
●発音とリズム…………… —学校文法を超えて(2)—	平出 昌嗣	345
●近代文学作家の体系化と国語教科書の役割…………… ——あかね書房・偕成社の叢書を中心に——	佐藤 宗子	456

Ⅲ. 自然科学系

●第一言語と第二言語における“語彙—概念リンク”の発達 その8……………	粉川あずさ・星野 郁佳・杉田 克生・杉田記代子 湊 康志・折原 俊一	351
●放射線リスク教育のための学習プログラムの開発……………	飯田 祥子・杉田 克生・前田 彩香・土岐 香苗 野村 純・加藤 徹也・飯塚 正明・喜多 和子	363
●植物および動物のはたらきを養分の移り変わりから一貫した説 明をするための授業開発……………	佐久間祐太・山下 修一	369
●ヒトの成長発達と性行動の特徴から見た思春期の性の問題の理 解と性教育における指導について……………	花澤 寿	379
●ミミズ食オサムシはミミズ以外の餌も利用するか?…………… —アオオサムシを用いた飼育実験—	古谷 梨紗・笹川 幸治	385
●小学校教員養成課程における家庭科食生活・衣生活領域の課題 意識を高める工夫……………	米田 千恵・谷田貝麻美子	391

●養護教諭養成のための基礎医学カリキュラムの開発……………野村 純・杉田 克生 —健康リテラシーの向上をめざして—	397
●情報ネットワーク通信プロトコルの理解を深める教材……………飯塚 正明	405
●確率を題材とする数学教材の開発に向けたPK戦の数学的考察……白川 健・三崎 凌	409
●擬人化・脚色による身近な物理概念への注視……………加藤 徹也	415
●洗浄方法の違いによるまな板の衛生状態の評価……………米田 千恵・山本 愛	423

IV. 芸術系

●体育実技・示範能力の向上を目指す「小学校体育」の授業実践 ……七澤 朱音・佐藤 道雄・小宮山伴与志 杉山 英人・西野 明・下永田修二	433
●初級和声学習プログラム開発……………山本純ノ介 —鍵盤和声課題と手引き—	439